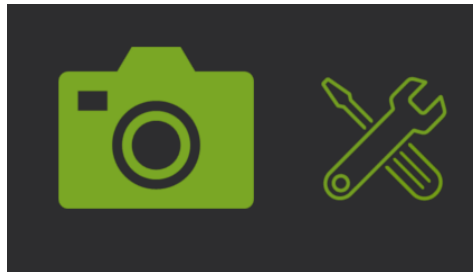


GRAVOTECH
E X P R E S S I O N O F T H I N G S

カメラについて



カメラドライバーインストール.....	2
キャリブレーショングリッド作成.....	7
カメラキャリブレーション.....	9
カメラのトラブルシューティング.....	10
パソコンの OS とビット数の確認方法.....	12

カメラドライバーインストール

準備

注意点

- 本作業の前に、パソコンの OS とビット数をご確認下さい。確認方法は P12 の「パソコンの OS とビット数の確認方法」を参照してください。
- ドライバーインストール前にカメラの USB をパソコンに接続しないで下さい。

手順

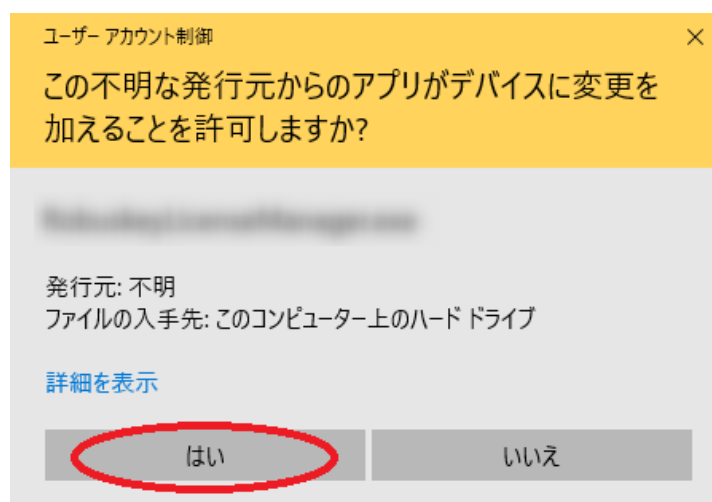
パソコンの OS ビット数に応じたファイルをダウンロードし、展開します。

インストールアプリケーションを開きます。

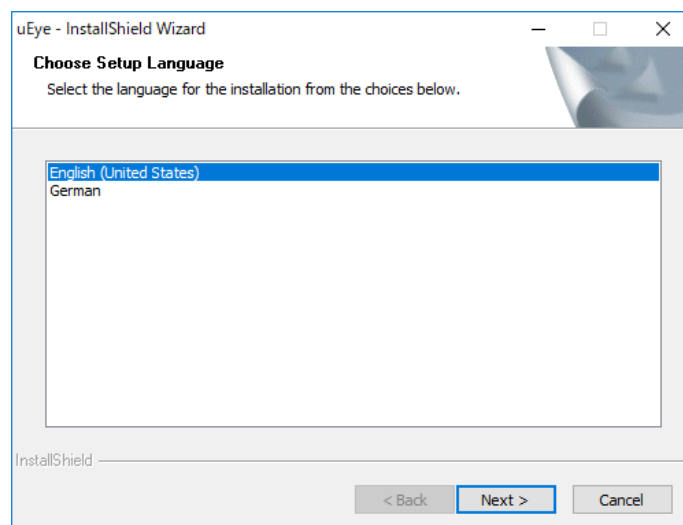
32 ビットの場合  uEye32_////_WHQL.exe

64 ビットの場合  uEye64_////_WHQL.exe

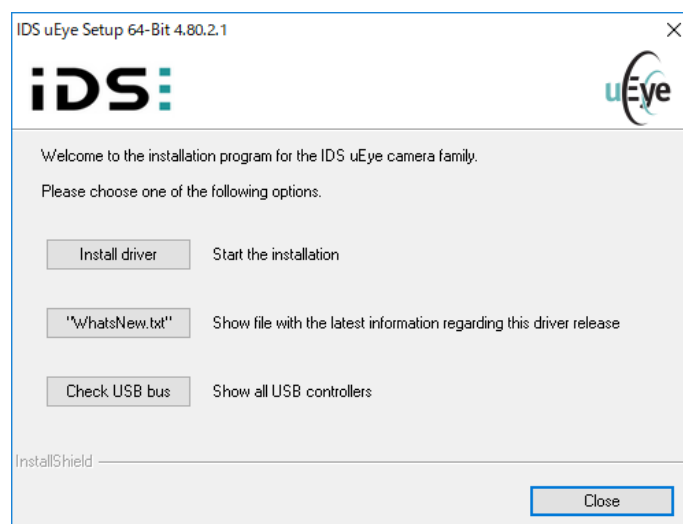
ユーザーアカウント制御が表示されますので「はい」を開きます。



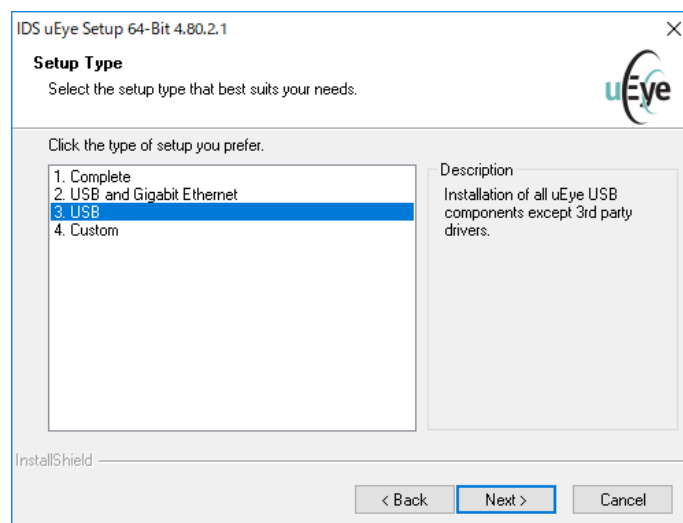
インストールウィザードが表示されます。「English (United States)」を選択し、「Next >」を開きます。



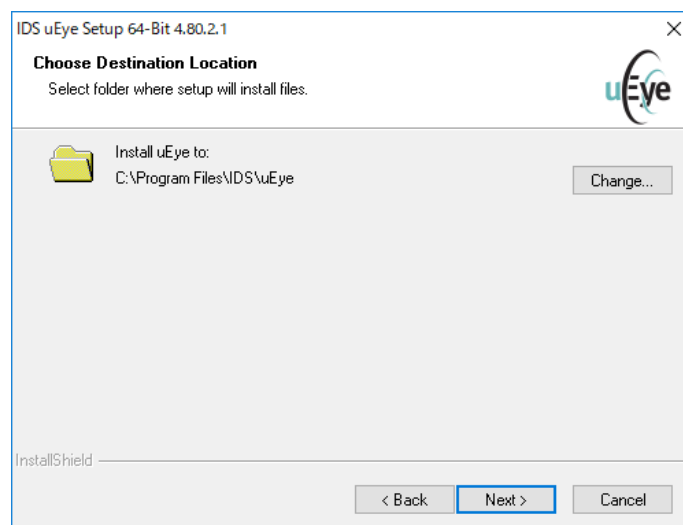
「Install driver」開きます。



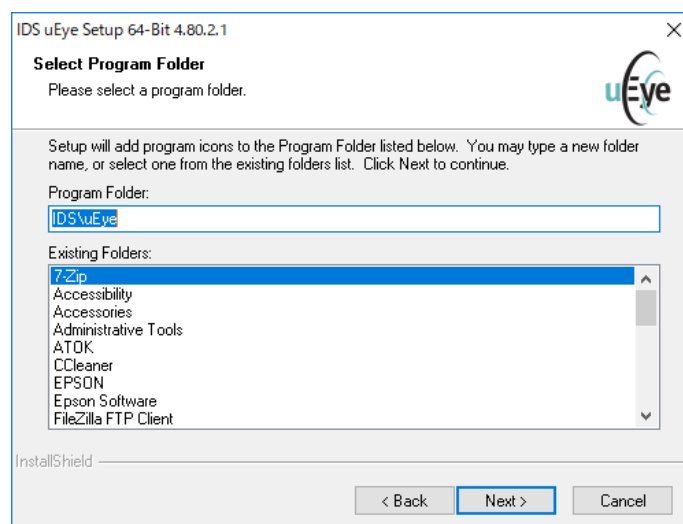
「3. USB」を選択し、「Next >」を開きます。



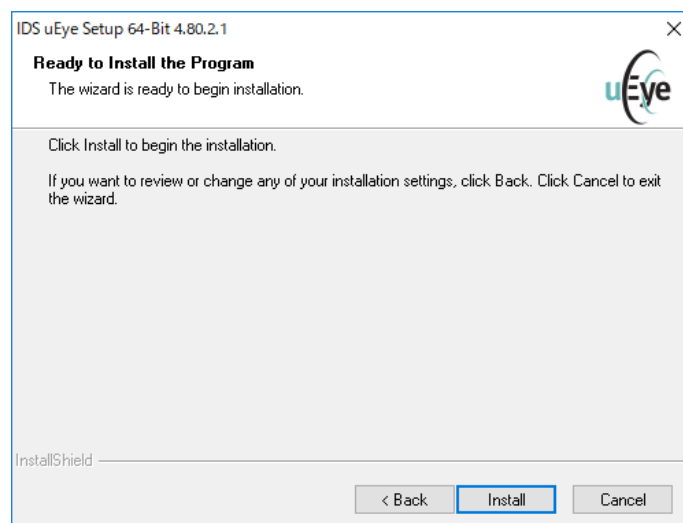
「Next >」を開きます。



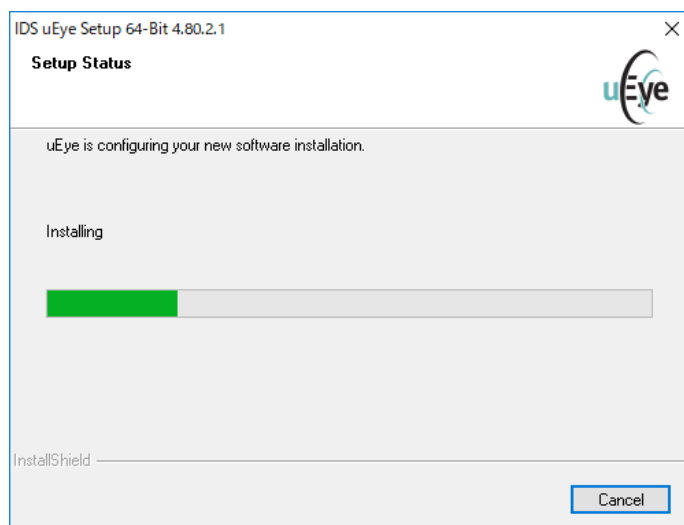
「Next >」を開きます。



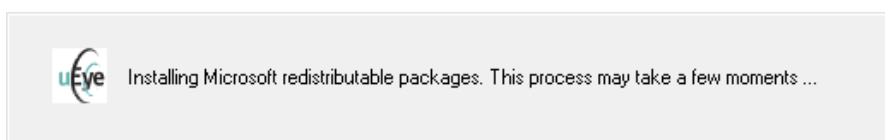
「Install」を開きます。



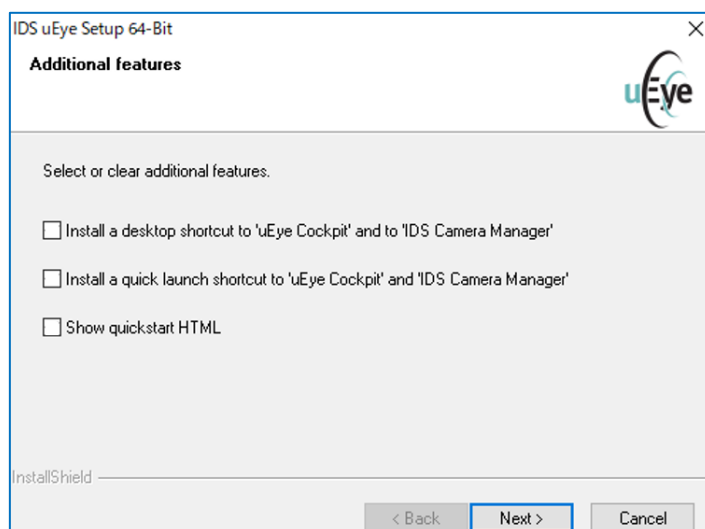
インストールが完了するまで待ちます。



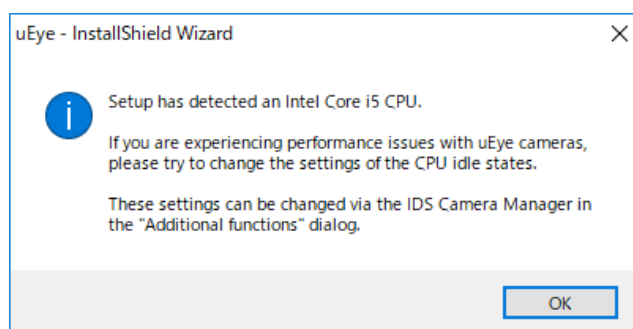
次の表示に変わるまで待ちます。



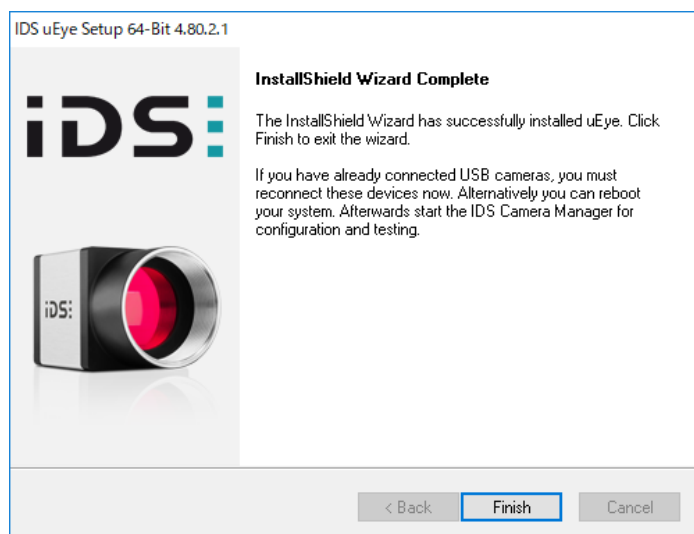
チェックを外して「Next>」を開きます。



「OK」を開きます。



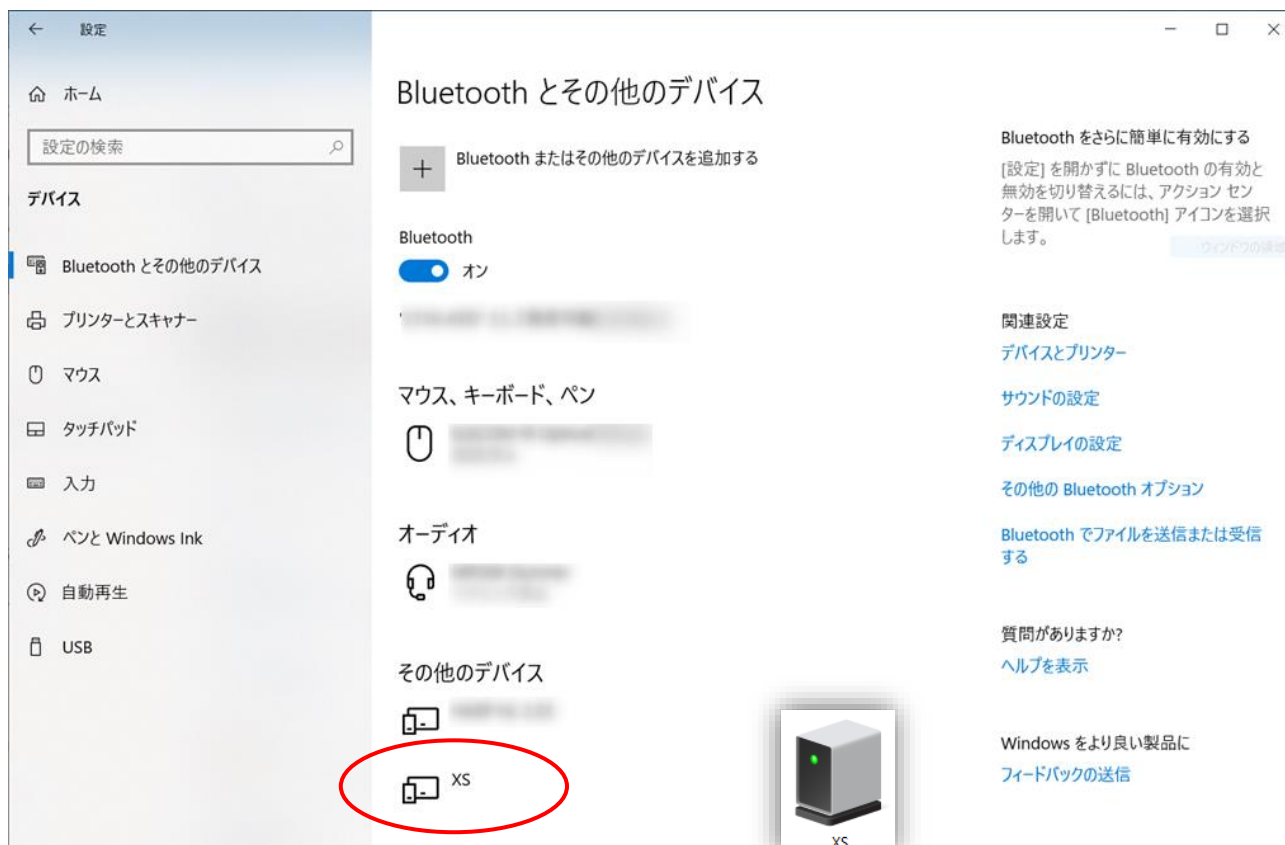
「Finish」を開いてウィンドウを閉じます。



カメラドライバーのインストールは完了しました。

レーザー彫刻機のカメラ USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブルにて接続して下さい。

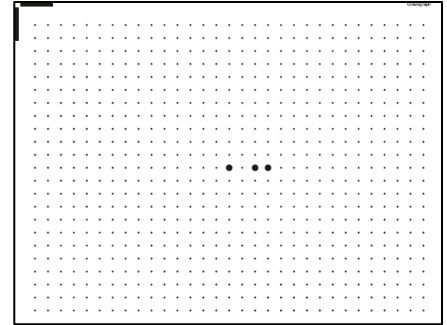
システムのデバイスの画面を確認したら、しばらくたつと新しいデバイスは出て来ます。XS が表示されると正常です。



キャリブレーショングリッド作成

準備

- マーキングすると、コントラストの高い彫刻が可能な素材を入手します。例：ベースが黒で表面に白塗装がされているアクリル二層板。推奨される素材は、厚さ 1.6mm のグラボプライレーザーホホワイト/ブラックです。シートサイズは少なくとも 200x150mm でなければなりません。
- キャリブレーショングリッドの PDF ファイルを取得します。



注意点

- カメラとレーザーマシンのドライバーは、カメラのキャリブレーションを行う前に正しくインストールされている必要があります。
- レーザーマシンは、カメラのキャリブレーションを行う前に正しく調整する必要があります。
- 機械を再調整したり(つまり、原点調整、レーザービームなど)、またはカメラを移動する場合、キャリブレーショングリッドを再作成する必要があり、再キャリブレーションが必要です。

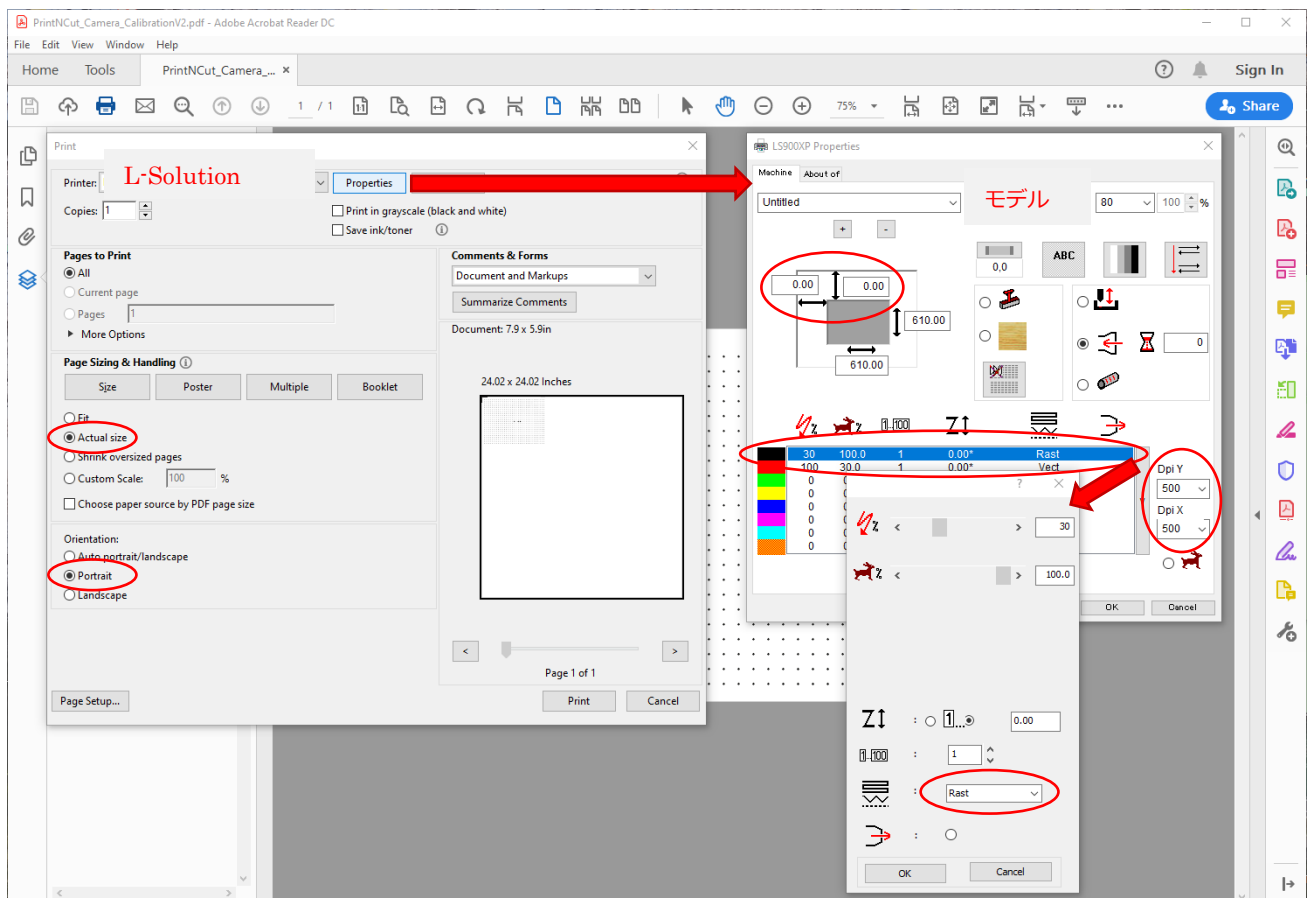
手順

パソコンにての操作

1. PDF を開きます
2. プリントメニューを開きます
3. プリントの設定を調整します
 - a. プリンター: Gravograph LS series model
 - b. サイズ: 実際のサイズ (変更なし)
 - c. 向き: 縦
 - d. 位置: 左上角 (X=0 Y=0)
4. プリンターのプロパティに移動して、マーキングパラメーターを調整します。レーザー出力と速度パラメーターはモデルによって異なります。LS900IQ 40W モデルの場合、ガイドラインは通常: raster, power 30%, speed 100%, DPI 500, 原点を 0,0 。これらの設定は、黒色に適用する必要があります。モデルに応じて、出力を調整する必要があります。「XP」とラベル付けされたモデルはより高速で、速度パラメーターは約 60%に減らす必要があります。


5. 転送します (プリント)


印刷設定はソフトウェアごとに異なる場合がありますが、Adobe Acrobat Reader を使用する場合のパラメーターの図を以下に示します。(無料で一般的に使用される pdf reader):



レーザー機にての操作

6. 彫刻可能な素材を機械のテーブルにセットし、左上隅に突き当てます。彫刻可能な素材の上にある保護フィルムは、最初に取り除く必要があります。プレートは、長辺が X(水平)に沿って、短辺が Y(垂直)に沿って方向付けられている必要があります(200x150mm)。

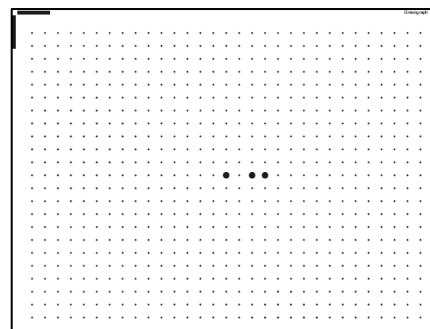
7. 材料の上にオートフォーカスを行います ()

8. マーキングを行います ()

カメラキャリブレーション

準備

- キャリブレーションするマシンで作成したキャリブレーショングリッドを用意します。



注意点

- カメラキャリブレーションファイルは、操作するコンピューターに保存されます。別のコンピューターを使用した場合、消去した場合は、再キャリブレーションが必要です。
- カメラキャリブレーションファイルは特定のマシンにリンクされています。別のマシンで作業している場合、その別のマシンに対してカメラのキャリブレーションを再度実行する必要があります。
- 機械を再調整した場合（原点調整、レーザービームなど）、または、カメラを移動した場合、キャリブレーショングリッドに再度マークを付ける必要があり、再キャリブレーションが必要です。

手順

1. マシンのテーブルにキャリブレーショングリッドをセットします。左上隅に突き当ててください。
2. FineCut の[プロッタ/ユーザー設定]メニューの[マシン設定]タブで、[カメラキャリブレーション]ボタンをクリックしてキャリブレーションを実行します。



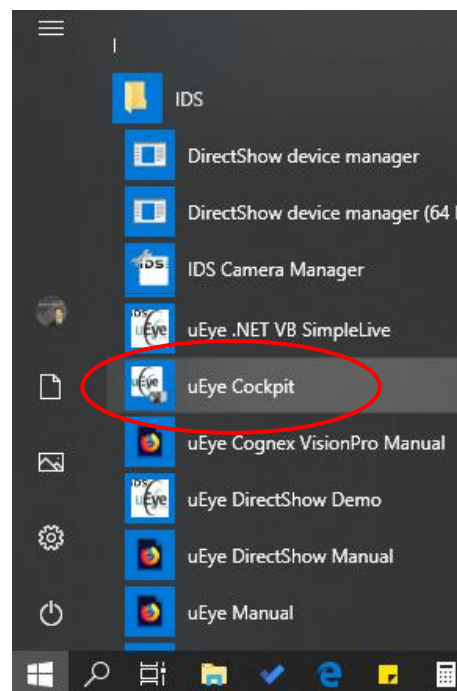
カメラのトラブルシューティング

カメラを使用するために、ウィンドウズのスタート画面で「uEye Cockpit」を探します。又はパソコンのフォルダーで検索：

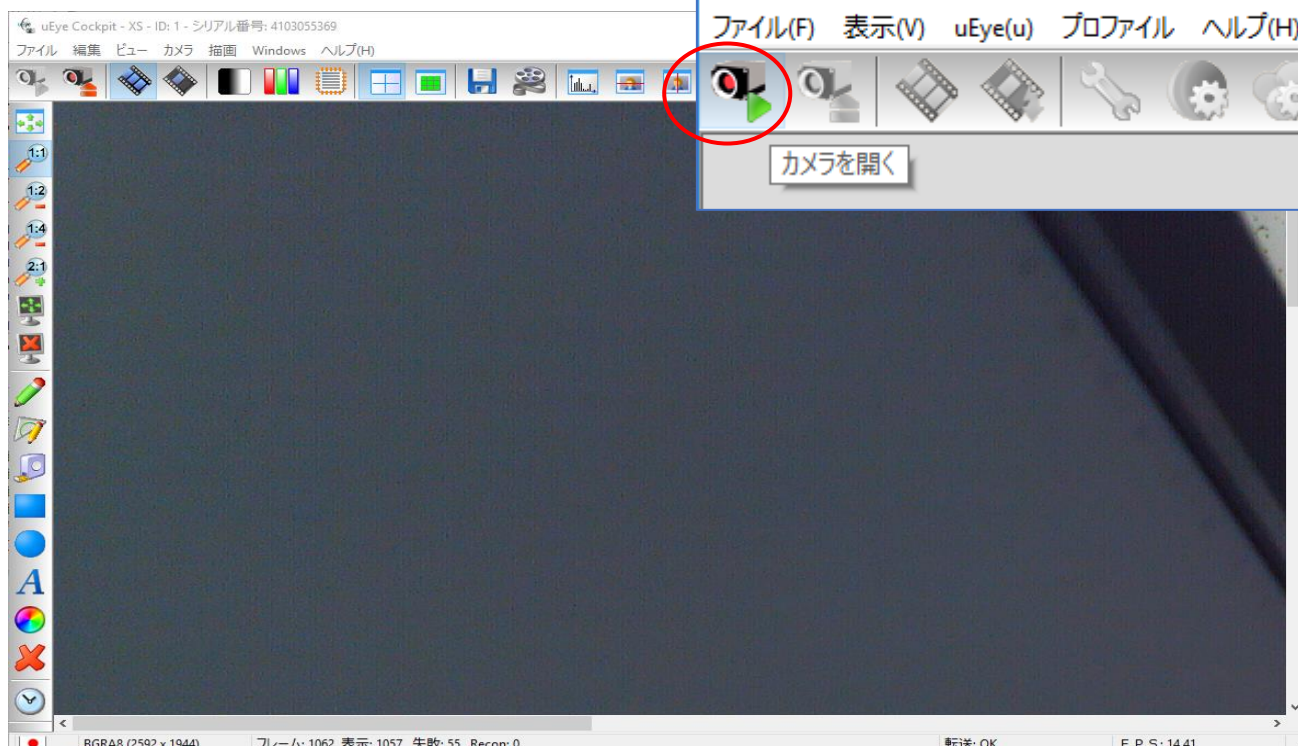
C:\Program Files\IDS\uEye\Program >> uEyeCockpit.exe

実行の際に以下の画面が表示されます。

「プロファイルなし」を選択してください。



カメラを起動するため「Open camera」をクリックしてください。



カメラの映像が見えたら、カメラは正常に動作しており、通信も正常となります。

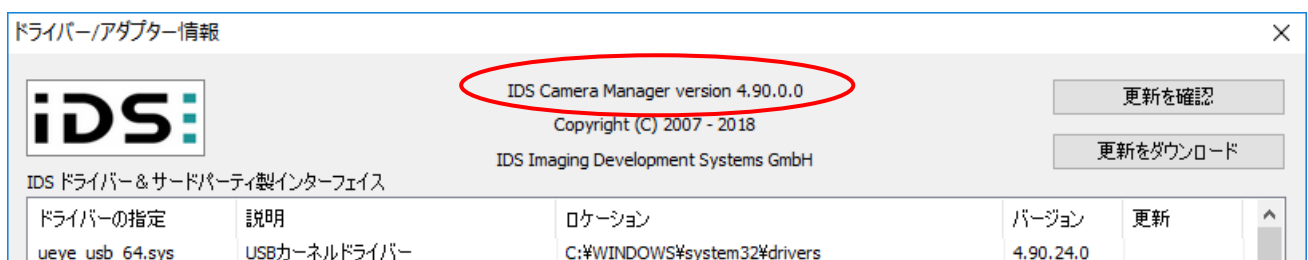
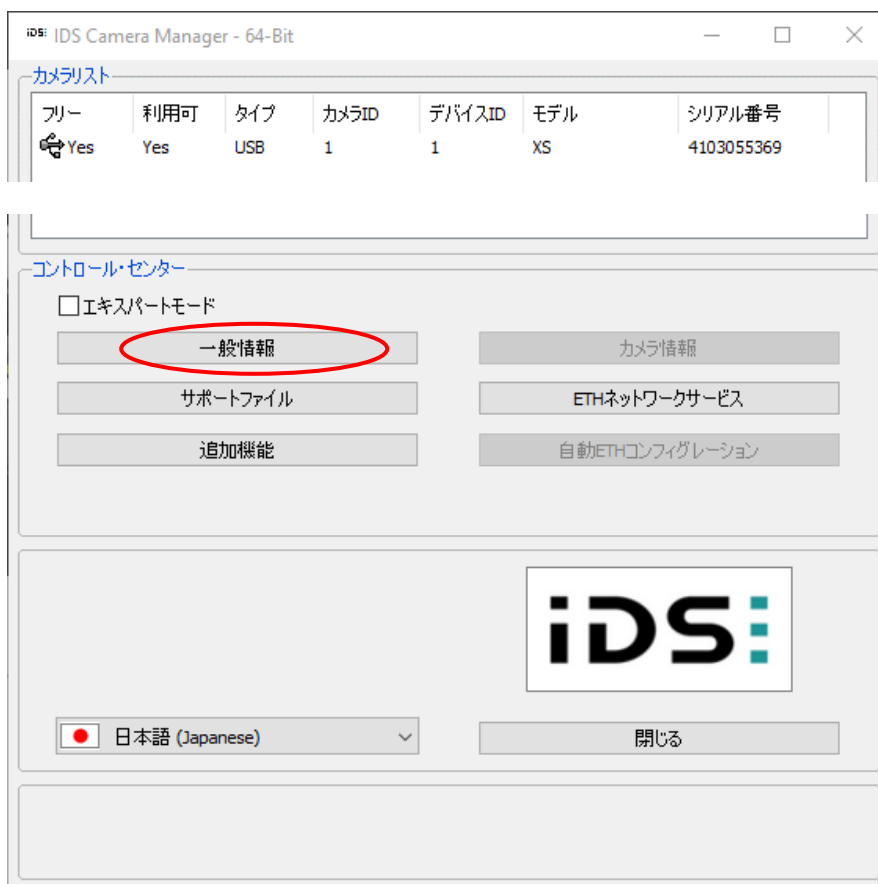
ご注意点：カメラはアプリケーションと対に一個のカメラしか使用できない為、他のアプリケーションで使用する前にこの画面を閉じてください。

USB3.0 の場合は USB2.0 の HUB を接続する必要があります：

古いオペレーティングシステム (Windows 7、8、8.1) では、一部のコンピューターブランドでは、USB ポートタイプ 3.0 でカメラを接続する際に問題が発生します。その場合は、USB タイプ 2.0 ハブを USB3.0 ポートに接続してから、カメラをハブに接続してください。

インストールされているカメラのドライバーのバージョンを確認するために、カメラ管理を使用します。ウィンドウズのスタート画面で「IDS」を検索して、「Camera Manager」を実行します。

「一般情報」をクリックするとバージョンが表示されます。



「デスクトップ」左下の「ウィンドウズアイコン」をクリックしメニューを開きます。

「歯車ボタン」をクリックし、「windows の設定」を開きます。



「Windows のエディション」で、OS を確認します。 また、「システムの種類」で、ビット数を確認します。

